

# 憩いの花壇造り

岩国・旭町 時間ある人が手入れ

市有地を囲んで住んでいる内山さん夫婦、藤本芳生さん(69)、ミカコさん(68)夫婦、谷章充さん(71)、由紀子さん(69)夫婦と、近くに住む村田静美さん(74)の7人が「みんなで楽しめるよう、草むらを整備して花を植えよう」と話し合い、市の許可を得て昨年11月から手入れを始めた。

よう花の名前を書いた木の札を横に並べた。広場の入り口には内山さんが手作りした看板を設置した。

近くにある「あさひ保育園」の園児が散歩で訪れることもあり、4月26日には繁徳さんやミカコさん、由紀子さんと交流した。園児たちは広場に咲いた色とりどりのチューリップやパンジー、キンギョソウ

に手入れしており、「毎朝起きて花を見るのが楽しみ。皆さんに喜んでもらうとやりがいになりますね」と声をそろえている。これからは、カスミソウやペチュニア、サルビア、ボタンなどが見頃といい、秋にはコスモスが咲き誇るよう計画している。

## 介護支援目的

をみると庭があり、ドアを開けるとみんなが集うスペースがあつて、個室もある家庭的な雰囲気だ。



和紙ちぎり絵の作品と伊藤さん

## 絵展

夫したい

## わくわく映画情報



映画プリキュアオールスターズDX2 私、花咲つぼみ、中学2年生です。あ朝、心地良く眠っていたら、親友のえりかが部屋にやってきて「ゴフレがいなくなつた!」って言うんで、

文具・オフィス用品・OA機器

木阪賞文堂 (柳井)

### うちの店



木阪賞文堂と社長の木阪さん

1894年創業の老舗、柳井市内で2店舗を営業している。観光地・白壁通りにある「白壁店」では、特産の民芸品「金魚ちょうちん」にちなんだ自家製商品を扱っている。

ポストカード(一枚150円)は、金魚ちょうちんが揺れ、映える白壁通りの町並みを4代目社長の木阪泰之さん(48)が自宅2階などから撮影した。地元をよく知る人ならではのアングル



金魚ちょうちんにちなむ祝儀袋などの商品

で、独特の雰囲気がある。観光客の笑顔を誘うのは、金魚ちょうちんの消しゴムはんこ(630円)。最新の商品は金魚ちょうちん祝儀袋(105〜525円)だ。「夢と想いをカタチにしたい! つくれる文具屋さん」をキャッチフレーズに、社内スタッフや柳井市在住のイラストレーターが作り上げている。

観光土産としてだけでなく、遠方の知人へのプレゼントとしても重宝されている。木阪さんは「金魚ちょうちんはシンプルだけど、愛嬌もあります。柳井を知ってもらう機会になれば」と話している。

▽白壁店=柳井市柳井津452 (0820・22・0150)▽営業時間 午前10時~午後5時▽定休日なし▽金魚ちょうちんマグネット680円、ストラップ315~525円、胸元に金魚ちょうちんのイラスト、背中に「賞文堂」と入ったTシャツ5色(各4800円)



15、16日の上映時間 (都合により変更になる場合もあり)

|    |    |    |   |    |    |    |    |    |   |
|----|----|----|---|----|----|----|----|----|---|
| 00 | 00 | の  | 土 | 10 | 名  | 土  | ・  | 11 | ラ |
| ズ  | の  | の  | 破 | 探  | の  | 1  | リス | ア  |   |
| DX | み  | だ  | の | 船  | 偵  | 1  | 7  | ・  | リ |
| X  | 上  | め  | み | ⑤  | ①  | ①  | ④  | ②  | ン |
| 2  | 映  | カ  | 上 | 18 | ③  | ⑩  | 40 | ②  | ド |
|    |    | ン  | 映 | ③  | 30 | 00 | 20 | ②  | ・ |
|    |    | ター |   | ⑥  | 20 | 天  | 22 | ③  | 吹 |
|    |    | ビ  |   | 20 | ④  | 空  | 00 | ②  | き |
|    |    | レ  |   | ②  | 20 | の  | 22 | ③  | 替 |
|    |    | 最  |   | ④  | ④  | ⑫  | 22 | ②  | え |
|    |    | 終  |   | 20 | 20 | ②  | 22 | ②  | 版 |
|    |    | ・  |   | ④  | ④  | ②  | 10 | ③  | ① |
|    |    |    |   | 20 | 30 | ②  | 幕  | ③  | ① |
|    |    |    |   | ③  | ③  | ⑤  | ②  | ③  | ① |
|    |    |    |   | ④  | ④  | ②  | 22 | ②  | ① |
|    |    |    |   | ④  | ④  | ②  | 22 | ②  | ① |
|    |    |    |   | ④  | ④  | ②  | 22 | ②  | ① |
|    |    |    |   | ④  | ④  | ②  | 22 | ②  | ① |

# 読売新聞 岩柳かわらばん

発行所 読売新聞西部本社 〒810-8581 福岡市中央区赤坂 1-16-5  
 電話番号 (092) 715-4311 (代) www.yomiuri.co.jp

2010年(平成22年) 5月15日 土曜日 第416号

## 押し花 優美アート



自宅の庭の草花を摘む

咲き誇る花を愛で、その美しさを長く楽しみたい。岩国市黒磯町の西本スミヨさん(74)は、全国的な押し花の会、ふしぎな花倶楽部の押し花アーティストとして活躍している。21、23日には、同市山手町の岩国市民会館で開かれる「第5回クラフト合同作品展」に出品し、「押し花の魅力」を多くの方に知ってもらいたいと張り切っている。

岩国の西本さん 21~23日に作品出展

### 庭に咲く一輪長く愛して

西本さんが、押し花に心を留めたのは17年前、夫の葬儀で。寄せられた弔電の押し花飾りの美しさが、悲しみでいっぱいだった心に染み入ったという。2年後、知人の紹介で同倶楽部に入ると、すぐにその魅力に取りつかれた。やるからにはとことんやりたくて、景色を描く「風景押し花」の技法を学ぶたきらめていきましたが、挑戦して良かったと振り返る。教室生は、現在8人。長年、押し花をしている人もいて、互いに意見を出し合っている。一緒に作品作り上げるのも楽しいという。

元々、花が大好き。自宅の庭でもたくさん花を育てていた。「押し花は難しい。花で景色を描く」とあ



押し花で多彩な作品を描く西本スミヨさん

### 教室開催 細心に根気強く共同制作



押し花の周囲に特殊なりのりをつけてガラスで密封する



自分好みのデザインで作品を楽しむ

人に贈る作品づくりは励んでいた。色とりどりの押し花を、作画用の台紙の上にピンセットを使って置いていく。気に入ったデザインに仕上げるとは細心の心遣いと根気がいるが、その過程がまた楽しいという。

できあがった作画台紙は、乾燥剤と酸素剤を並べたアルミシートの上に置き、ガラス板を特殊な接着剤で台紙に張り付ける。その間に、完成した作品を見ながら、次の課題を考えるのが楽しい。押し花は奥深いです。西本さんと一緒に、一生懸命に取り組むのは良いことですね。完成するとすごくうれしいと話した。

西本さんにとって「押し花は生きがい」。たくさんの人との出会い、交流をもたらし、これからは、押し花の魅力を広げる指導活動はもちろんです。創作工夫を凝らした作品づくりを続けたらいいですね。押し花の魅力を広げる指導活動はもちろんです。創作工夫を凝らした作品づくりを続けたらいいですね。押し花の魅力を広げる指導活動はもちろんです。創作工夫を凝らした作品づくりを続けたらいいですね。

その後、ガラス板と台紙の間の空気を、ポンプを使って抜き密封する。倶楽部独自の保存法で作った押し花は、本の間に挟むなどして作っただけのもとは違い、自然の色鮮やかさ、美しさが長く保てるという。

＊掲載写真を差し上げます＊ かわらばんに掲載された写真(提供写真を除く)をプレゼントします。申し込みは最寄りの読売センターへ。読売センターからお届けします。申し込みは写っている本人またはご家族に限り、枚数は制限があります。

かわらばん 編集室

ニュースや情報をお寄せください  
 〒740-0022 岩国市山手町1-1-14 読売新聞岩国支局内 電話:0827-22-1365 FAX:0827-22-1366 Eメール:iwakuni@yomiuri.com

新しい読者をご紹介下さい。申し込みは ☎ 0120-4343-81へ

世界 日本 山口 読売新聞